

越前市の注目人に緊急インタビュー!

見延和靖

Minobe Kazuyasu

フェンシング男子エペW杯で日本人初の優勝!



日本人として初の快挙！世界一をその手に。

昨年11月エストニアのタリンで行われたフェンシングのワールドカップ男子エペ[※]にて、日本人初となる優勝を遂げた見延和靖さん。準決勝で世界ランク1位のゴチエ・グリュミネ（フランス）を破り勢いに乗り、日本選手同士の対決となった決勝戦で23歳の宇山賢選手（三菱電機）を15対8で退けました。歴史的快挙を達成した瞬間を「レベルの高いW杯で金メダルを取れたことは本当に嬉しい。」と振り返ってくれました。

フェンシングといえばオリンピック銀メダリストの太田雄貴選手が活躍する「フルール」[※]を思い浮かべる人も多いかもしれません。しかし、本場ヨーロッパではエペの人氣が最も高く、強豪ひしめく中で、快挙となりました。また、ウクライナからゴルバチュク・コーチを招き、力を入れてきた日本フェンシング協会の期待に応える勝利でもありました。

国中町で生まれ、高校まで越前市で育った見延さん。高校の部活帰

りに訪れた喫茶店で初めて出会ったボルガライスの味が忘れられませんでした。あまりのボリュームと美味しさに衝撃を受けたのを今でも鮮明に覚えています。練習がハードでがつりしたものが食べたい時には、母親に頼んでよくお店に連れて行ってもらいました。南中山地区伝統のごほう講で出される山盛りのごほうも大好きです。いつも心の中にはふる里があり、毎年地元に戻るのをとても楽しみにしています。

リオデジャネイロ五輪が開催される今年は勝負の年となります。見延さんは、ワールドカップ優勝の余韻に浸る間もなく、強化合宿や試合のために世界中を飛び回る日々をおこなっています。男子エペチームは年明けからロシアで合宿を行い、その後ドイツのハイデンハイムで開催されるワールドカップに出場しました。目標はもちろん、リオデジャネイロオリンピック団体でメダルを獲得することです。オリンピック選考レースも

残すところ後3試合、それで全てが決まります。残された期間は3ヶ月。チーム一丸となり1日も無駄に過ごす事のないように、残された期間を突っ走りたいと思います。この4年間、切磋琢磨してきた仲間、日本チームの絆を大切に、最高の結果を出したいです。そして、オリンピックの舞台でも、皆さんの期待に応えられるよう、実力の全てを發揮したいと思います。

最後に、越前市民の皆さんにメッセージをいただきました。「いつも応援ありがとうございます。垂れ幕を作ってくださいたり、ふるさと大使に任命していただいたり。毎回、地元の方の応援が自分の力の源となつていきます！必ずリオデジャネイロオリンピックの出場を決め、メダル獲得という結果を報告できるようながんばります。これからも引き続き応援よろしくお願いします！」

ぜひ、今後の見延選手の活躍に注目していただきたい。



越前市の「市民スポーツ文化大賞」を受賞した時の様様。受賞後、越前市ふるさと大使の委嘱式も行われました。



ヨーロッパでは大人気のフェンシングエペ。思わず息をのむ、美しいフォームでひと突き！



全日本選手権大会での表彰式。厳しい戦いを勝ち抜き、結果を表彰される何よりも嬉しい瞬間（見延選手：左から2番目）

※エペ………頭の前からつまみまで全身のどこをついても有効。先に相手を突いた方に得点が入る
 ※フルール………頭や手足を除く胴体部分を突くと有効。攻撃権など一定のルールがある

◎プロフィール
 1987年越前市国中町生まれ。NEXUS株式会社所属。趣味は旅行。座右の銘は「面白く」。昨年11月に行われたフェンシング男子エペのワールドカップ(W杯)にて日本人として初めて優勝した。今後の目標はもちろんオリンピックでのメダル獲得!